

(別紙4(2))

事業所名 グループホームつぐみ

目標達成計画

作成日: 令和2年11月2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念を掲示しているが、内外の人に目に触れる機会が少ない状況。	内外の人に向けて、理念を発信する。	理念をホームページや書類などに掲載し、内外の人の目に触れる機会を増やしていく。また、スタッフに対し、理念を伝え振り返る機会を作っていく。	12ヶ月
2	35	年2回防災訓練をおこない、防災計画も立てているが、家族や地域との災害時の対応方法について連絡体制や連携方法の確認が不十分となっている。	災害時の家族との連絡方法の確認と地域との連携体制の確立をする。	家族との災害伝言ダイヤルの訓練を行う。近くの保育園と災害時の連携方法について話し合う。	6ヶ月
3	40	栄養士の立てた献立を元に調理し、職員も利用者と同じものを食べているが、食事内容や調理方法を振り返る機会が少ない。	検食簿を使用して日々の調理を振り返り、より良い食事を提供していく。	検食簿を使用し、調理の見直しを行う。	6ヶ月
4	6	身体拘束等適正化委員会を定期開催し、職員の意識改革にもつながっている。より良いケアに繋げる為にも、スタッフの身体拘束や虐待に関する自己評価を定期的に行っていく必要がある。	スタッフ一人一人に自身のケアを振り返ってもらい、さらなる身体拘束や虐待に対する意識を高めていく。	定期的にスタッフの自己評価を実施し、日々のケアを振り返る機会を作る。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。